

社団法人 茨城原子力協議会

[法人の概要]

平成19年7月1日現在

代表者名	会長 黒木 剛司郎 (非常勤)	県所管部課	生活環境部 原子力安全対策課	
所在地	那珂郡東海村村松225-2	電話番号	029-282-3111	
ホームページURL	http://www.ibagen.or.jp/	E-mailアドレス	-	
資本金(基本財産)	- 千円	設立年月日	昭和54年6月29日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1		- 千円	- %
	2		- 千円	- %
	3		- 千円	- %
	4		- 千円	- %
	5		- 千円	- %
	その他	団体	- 千円	- %
設立目的	原子力の平和利用と安全に関する知識の普及と啓発を行い、もって原子力の平和利用の着実な進展に寄与し、地域の生活環境の保全と地域産業の健全な発展に資する。			

[事業の概要]

事業名	平成19年度事業費	内容
事業1 原子力科学館運営	7,000 千円	原子力を理解するために必要な科学の基礎知識、日本のエネルギー事情、原子力の必要性、日本の原子力の歴史等を展示。インターネットを活用した当協議会活動の情報公開。
事業2 自主事業	22,200 千円	立体映像の上映や科学実験教室の開設により地域との交流を図る他、会員の研修・交流を目的とした原子力施設等の視察研修会及び女性広報普及活動の支援。近隣の原子力関係展示館を結ぶ巡回バスの運行。
事業3 受託事業	145,198 千円	広報紙の発行、施設見学会、企画展、着ぐるみ劇の上演、県や市町村のイベントでの出前展示等、普及・啓発活動の実施。子供たちに対する原子力教育促進のための教員セミナーの開催。原子力施設安全調査員の配置。

[組織]

7月1日現在の人数	平成17年			平成18年			平成19年			
	県派遣	県OB		県派遣	県OB		県派遣	県OB		
役員	常勤理事	1	0	1	1	0	1	1	0	1
	非常勤理事	24	0	0	24	0	0	24	0	0
	常勤監事	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	非常勤監事	3	0	0	3	0	0	3	0	0
	計	28	0	1	28	0	1	28	0	1
職員	管理職	5	1	0	5	1	0	5	1	0
	一般職	3	0	0	3	0	0	3	0	0
	臨時職員	4	0	0	5	0	0	6	0	0
	嘱託職員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	12	1	0	13	1	0	14	1	0
当期常勤職員の年齢構成	20代以下	30代	40代	50代以上	合計	平均年齢	平均勤続年数			
	3	5	3	3	14	40歳 月	4年 月			

[収支の状況]

社団法人 茨城原子力協議会

(単位:千円)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
収 支 の 状 況	収入合計	246,928	234,400	243,755
	事業収入	246,000	233,468	242,939
	事業外収入	928	932	816
	支出合計	239,972	223,876	234,096
	事業支出	239,972	223,876	234,096
	事業外支出	0	0	0
	うち管理費	67,126	59,774	81,779
	うち人件費	45,685	44,570	43,832
	当期収支差額	6,956	10,524	9,659
	正味財産増加額	15,766	2,468	243,755
正味財産減少額	10,257	6,124	725,392	
当期正味財産増減額	12,465	6,868	△ 481,637	
前期繰越正味財産	463,162	475,627	482,495	
期末正味財産	475,627	482,495	858	
財 産 の 状 況	資産	844,072	840,486	366,079
	流動資産	90,691	84,762	95,651
	固定資産	753,381	755,724	270,428
	負債	68,445	57,992	65,223
	流動負債	27,317	10,864	12,094
	うち短期借入金	0	0	0
	固定負債	41,128	47,128	53,129
	うち長期借入金	0	0	0
正味財産	775,627	782,494	300,856	

[財的関与の状況]

(単位:千円)

区 分		平成16年度	平成17年度	平成18年度
財 的 関 与 状 況	補助金	14,639	14,687	14,768
	委託金	97,072	97,245	113,524
	貸付金			
	計	111,711	111,932	128,292
	財政的関与の割合(%)	45%	48%	53%
	損失補償・債務保証			

[平成18年度の補助金等の目的・内容等]

支 出 項 目	目 的 ・ 内 容 ・ 効 果
補助金	(社)茨城原子力協議会定款第11条第1項の規定による常務理事の人件費に対する補助及び原子力施設安全調査員配置に伴う県派遣職員の人件費に対する補助
委託金	県民等へ原子力についての知識を広報・普及することを目的に、広報紙の発行・新聞広報・原子力施設見学会・教員セミナーを実施。近隣市町村への原子力施設安全調査員を配置。茨城の原子力立地50周年記念事業の開催。
貸付金	

[評点集計]

評価の視点	評価項目数	評点	満点	得点率
計画性	4	6	8	75.0%
目的適合性	5	14	14	100.0%
組織運営の適正性	4	7	8	87.5%
健全性	11	8	40	20.0%
効率性	8	8	28	28.6%
合計	32	43	98	43.9%

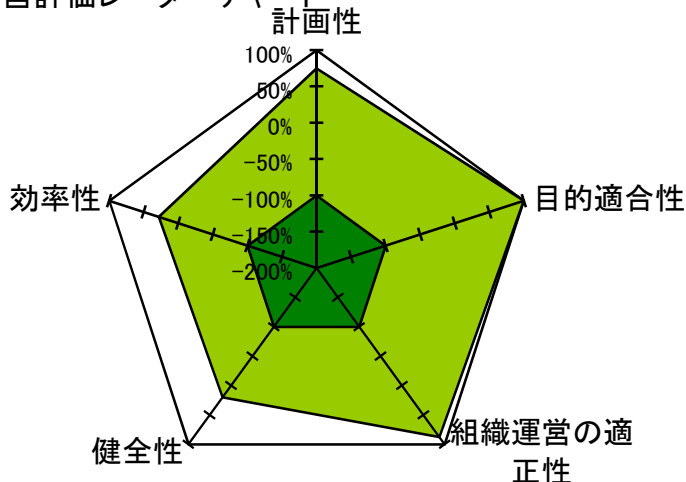
公益法人会計用

社団法人 茨城原子力協議会

警戒指標

当期正味財産増減額

経営評価レーダーチャート



《評価の視点》

計画性	経営目的、経営方針が各種計画に反映され、計画・実行・見直しが行われているか
目的適合性	法人が行っている事業と当初の設立目的が適合しているか
組織運営の適正性	組織、人事、財務等の内部管理体制が適切に整備・運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切か
健全性	法人の財務体質が健全であるか、また、各事業の採算性がとれているか
効率性	組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているか

各評価項目については、「出資法人等経営評価指標及び評価基準等」を参照

[法人の自己評価(経営概況、経営上の課題・対策等)]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
平成14年度の「21世紀の協議会のあり方検討委員会」から受けた提言を土台に平成15年度「中期計画」を作成した。平成19年度は中期計画を踏まえ総会で決定された「平成19年度事業計画」を着実に実施していく。	地球温暖化対策、エネルギー事情等を考えれば原子力の推進しか選択肢がないのが実態、また放射線利用は日常生活に深くかかわり避けて通れないものであるが、国民的コンセンサスは十分ではない。このため第三者的機関である当協議会の役割は益々高まっている。	幹部が県や原子力事業所からの出向である等の制約はあるが、会員企業の理解もあり業務内容に適した組織になっている。財務状況についても総会前に公認会計士のチェックを受ける他、県と適宜協議をしながら運営している。	原子力2法人の統合や市町村合併の進展も影響し18年度は会費収入が減少した。また、新会計基準適用により、過年度減価償却費を一括計上したため一時的に費用が増加した。次年度から平準化するものであり、引き続き経費の節減や事業の見直しにより経営の健全性を確保していく。	職員は県OBの常勤職員のほか、県派遣職員、原子力事業所出向職員、3人のプロパー職員等で構成されており、人件費は出向元が負担しているため効率性は保たれている。なお、一部指標に評点の低いものがあるが、過年度減価償却一括計上に伴う過性のものである。
今後の事業展開の方向	地域の人々が協議会活動に参加しやすい環境を整備すると共に、各種団体との連携を一層強化し科学館を生涯学習の教材として活用してもらうなど地域との共生を図る。教育現場との連携を強化し、教員セミナーのほか出前授業等により教員を支援する等、子供たちが原子力に理解を深める機会を増やす。幼児や小学生を対象に各種イベントを開催し、放射線を身近に体感してもらう。地球温暖化、化石燃料の埋蔵量、新エネルギーの供給能力等から、日本は省エネを推進するほか、原子力エネルギーへの依存度を高めていかざるを得ない状況にあること、放射線が日常生活の中で活用されていることを実感し、原子力について、無知ではいられないこと、正しい理解が必要なことを訴えていく。			

[法人を担当する課の意見]

計画性	目的適合性	組織運営の適正性	健全性	効率性
平成16年3月に策定された中期計画(5カ年)に基づき、概ね適正に事業が執行されていると認められる。	特定の立場に立たない客観性や公平性が確保され、公共的団体として高い評価を得ているなど、設立の趣旨に合った運営が行われていると認められる。	事業所からの出向職員の年齢構成やフロパー職員の育成などの課題はあるものの、概ね適正な運営が保たれているものと認められる。	平成18年度から新会計基準を適用し、過年度減価償却費を一括計上したため、一時的に費用が増加したが、次年度以降から平準化するものであり、年度収支に大きな差はなく、事業の健全性は確保されていると認められる。	同法人の事業収入は、県からの受託によるものが多いことから、管理運営上における人員配置は、適正と認められる。
法人担当課の意見	同法人は、原子力の平和利用と安全に関する知識の啓発などの原子力広報等を行うために設立された県内唯一の公益法人であり、計画性、目的適合性、組織運営の適正性、健全性において概ね良好な運営が保たれていると認められる。 今後は、原子力科学館の老朽化の問題や、科学技術の進展に合った常設展示等のリニューアルの検討などを進め、展示内容の更なる充実を図っていく必要がある。			

[総合評価]

取組みを強化すべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">健全性</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見等	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">概ね良好</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">改善の余地がある</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">緊急の改善措置が必要</div> </div> <p>電力事業者等の過去のトラブル隠蔽など、原子力を取り巻く状況が厳しい中、原子力に対する地域の理解を得るため、当法人が果たしていくべき役割は今後とも大きい。 原子力科学館の展示施設については、平成19年度、リニューアルの見通しがついたことから、原子力の安全等についての知識の普及・啓発に向け、展示内容の更なる充実など、より効果的な情報発信に努められたい。 また、運営にあたっては、引き続き、経費削減などより効率的な運営に努めるとともに、外部の補助制度等を積極的に活用するほか、賛助会員の通減傾向に歯止めをかけるなど、財務基盤の強化を図っていく必要がある。</p>
総合的所見等に係る対応	<p>原子力の安全等についての知識の普及・啓発については、引き続き、より効果的な情報発信に努めていくよう、指導・助言していく。</p> <p>また、原子力科学館の展示施設については、平成19年度に実施設計を行うなど、県民が求める展示館となるようリニューアルを進めている。</p> <p>今後とも、経費削減に努め、効果的な事業展開が行われるよう、県として指導・助言をしていく。</p> <p>なお、指導に際しては、国、市町村、及び原子力事業所など、関係機関との連携を図っていく。</p>

< 社団法人 茨城原子力協議会 から県民のみなさまへ >

私どもは、化石燃料の長期的枯渇傾向や地球温暖化対策の緊迫化から見て、わが国のみならず地球規模でのエネルギー供給に果たす原子力の役割の優位性、そして、原子力がエネルギー確保にとどまらず、放射線や量子ビームが、基礎科学から医療や産業など日常生活に身近な分野まで多方面に活用されている実態をふまえ、原子力の特性を正しく理解して役立てることが必要と訴えています。

そのため、次世代を担う子供から大人までを対象に、様々な場面で原子力広報に努めてまいりますので、皆様のご理解とご支援をお願いいたします。

平成20年2月 会長 黒木 剛司郎